

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|--------|------------|---|---|
| 家計動向関連 | ◎ | コンビニ（営業） | ・緊急事態宣言が解除され、消費動向が上向いてきそうである。さらに、たばこの値上げに伴って駆け込み需要となりそうである。 |
| (北陸) | ◎ | 一般レストラン（統括） | ・北陸3県では、10月1日のまん延防止等重点措置の解除に合わせて、早々にG o T o E a tキャンペーンの食事券の再販売や県民割引の再開などを企画している。また、11～12月のカニを始めとする冬の海の幸シーズンに合わせて、行政はもちろん、鉄道など民間企業も北陸観光への誘客企画を計画している。 |
| | ◎ | 観光型旅館（スタッフ） | ・9月30日で緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等が解除されるため、予約の増加を期待したい。 |
| | ◎ | 都市型ホテル（役員） | ・10月以降、週末や休日を中心に予約数が増加している。まん延防止等重点措置の解除、地域の宿泊キャンペーンの再開等により、宿泊予約の回復を見込んでいる。 |
| | ○ | 商店街（代表者） | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きをみせてくれば、人出も増え、にぎやかさが幾分か出てくるとみている。 |
| | ○ | 一般小売店〔精肉〕（店長） | ・今月は前月と同様の状態で、デイリー等での販売が進み、多少ギフト商材なども出てきている。また、まん延防止等重点措置が解除になるので、更に動きが出てきてくれることを期待し、やや良くなると考える。 |
| | ○ | 一般小売店〔事務用品〕（店長） | ・ワクチンを接種した人が増えたことによって、経済活動の正常化が進むと考える。 |
| | ○ | 一般小売店〔鮮魚〕（役員） | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染症の終息がみえ始めており、徐々に来客数が回復してくると考える。 |
| | ○ | 一般小売店〔書籍〕（従業員） | ・ワクチン接種の人数が増え、新型コロナウイルス対策が今よりも更に改善され、景気が回復すると考える。 |
| | ○ | 百貨店（売場主任） | ・直近では新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向とワクチン接種が人口の50%を超えたにもかかわらず、来客数のベクトルの向きは変わっていない。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、政府主導によるG o T oキャンペーン関連の施策の再開が唯一の希望である。 |
| | ○ | 百貨店（販売促進担当） | ・ワクチン接種が高齢者を中心に行き渡り、国内の近場への旅行や冠婚葬祭などの行事に関連した買物が増えるかとみている。今まで不振だったアパレルが復調すると期待している。 |
| | ○ | 百貨店（販売担当） | ・感染状況に左右されるが、11～12月にかけて旅行や出張、年末年始の帰省が増加するとみている。近隣エリアへの外出や1～2泊程度の旅行の増加に伴い、衣料品や雑貨など周辺アイテムの活発化を見込んでいる。数年間購入がなく、金銭的に余裕のある客が多いため、一気に動くかもしれない。国の新型コロナウイルス対策と経済強化の後押しもあれば更に向上し、春頃の回復に向けてやや期待を込めて準備している。しかし、各製造メーカーは新型コロナウイルスの影響による消化率を考慮し、非常に生産数が少なく、商材不足の可能性が高い。消費の機会損失につながりかねないため、商品確保が激化するかもしれない。 |
| | ○ | コンビニ（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくる。 |
| | ○ | コンビニ（店舗管理） | ・首都圏の緊急事態宣言が解除され、自粛傾向も緩和ムードになる。 |
| | ○ | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括） | ・ワクチン接種率の向上、新規感染者数の減少、緊急事態宣言の解除などが重なり、自粛緩和に伴って行動範囲が拡大されれば、消費も回復してくるとみているが、既に第6波への警戒の話題もある。現状よりは状況が改善すると思うが、すぐに回復するとは捉えていない。一方で、相当な解除期間と経済対策などが打たれる状況になれば、回復が早まるのではと期待している。 |
| | ○ | 高級レストラン（スタッフ） | ・現在が最低の集客状況で、これより悪くなることはないかとみているが、新型コロナウイルスの情勢次第であり、3か月後を予想することは難しい。 |
| | ○ | 一般レストラン（店長） | ・夜の来客数はまだまだ少ないが、昼の客は少しずつではあるが増えてくるとみている。 |
| ○ | 観光型旅館（経営者） | ・ワクチン接種が進んでいることや緊急事態宣言の解除により、人は動き出すとみている。 | |

| | | |
|---|---------------------------|--|
| ○ | タクシー運転手 | ・ほとんどの人がワクチンの2回接種を済ませ、新規感染者数が減っている。今後は感染は拡大せず、少しずつ収まってくるとみている。そうなれば経済も良い方向に向かうと考える。 |
| ○ | タクシー運転手 | ・まん延防止等重点措置の解除と、当地の感染警戒レベルが下がったことから、タクシー利用客が多少増えると期待している。 |
| ○ | 通信会社（職員） | ・ワクチン接種の特典等により、人の動きが回復する兆しがみえてきている。 |
| ○ | 通信会社（役員） | ・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種率の向上により、新型コロナウイルス感染症による制限や制約が緩和されるとみられ、消費活動や経済活動が徐々に回復すると考える。 |
| ○ | テーマパーク（役員） | ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除が見込まれ、感染の拡大傾向も落ち着くなかで、人の移動や人流の制限がやや緩和される。さらに、旅行需要の回復に向けたキャンペーンも開始されるとの期待があり、やや回復傾向に向かうと考える。 |
| ○ | 競輪場（職員） | ・緊急事態宣言の解除に伴い、全国の臨時場外車券売場での発売が可能となることから、売上増加が見込まれる。 |
| ○ | その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人） | ・県の感染状況が改善され、現役世代のワクチン接種も進むことで安心感が出て、体験や入会につながってくれることを期待している。第6波にならないことを祈るしかない。 |
| ○ | 美容室（経営者） | ・各種の消費喚起キャンペーンが再開され、消費が少しずつ活発になる。 |
| ○ | 住宅販売会社（営業） | ・ワクチン接種がこのまま進めば不安が軽減され、これまで抑圧されてきた感情が、購買意欲に直結するような雰囲気客から感じている。 |
| □ | 商店街（代表者） | ・緊急事態宣言の解除など明るい話題が出てきたが、ブレイクスルー感染もあり、まだまだ人出が戻るには時間が掛かりそうである。 |
| □ | 商店街（代表者） | ・10月はマラソンを始め、様々な行政主催のイベントが予定されているが、急に県外観光客が増えるとはみていない。11月にはカニの解禁で飲食店を中心ににぎわいが戻ると考えるが、クリスマス前に新規感染者数が増え始め、基準が変わらない限り、また緊急事態宣言が発出されるだろう。観光客が本格的に戻るのは早くて来年の桜シーズンになるとみている。 |
| □ | スーパー（総務担当） | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、景気は良くならない。 |
| □ | スーパー（仕入担当） | ・内食傾向から外食傾向へのシフトが加速するとみている。 |
| □ | コンビニ（店長） | ・人の流れが増えてきているが、購入する商品の点数や単価が低く、金をたくさん使うという買物の仕方が少ないようである。客単価は前年と比べて数%減少している。不要不急の外出を控え、コンビニで買物を済ませようとしていた時期は来客数こそ少なかったが、1人当たりの単価は高かった。現在は全体での景気は余り変わっていないし、今後も同じような状況がしばらく続くのではないかとみている。 |
| □ | 衣料品専門店（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染拡大が収まったわけではないことから、まだ来店をちゅうちょする客が見受けられる。 |
| □ | 衣料品専門店（経営者） | ・今まで新型コロナウイルスによる感染拡大のピークを何度も経験しているため、早急に自粛等を緩めないとみている。回復にはまだまだ時間が掛かると考える。 |
| □ | 家電量販店（店長） | ・スポーツなど大きなイベントもなく、映像関連商品の売行きは落ち込みそうである。 |
| □ | 家電量販店（本部） | ・次の感染状況を考えると、景気の回復は難しい。 |
| □ | 乗用車販売店（役員） | ・受注は引き続き好調に推移しているが、自動車の減産の影響で配車の見通しが不透明であるため、来年3月の決算期に向けてどのくらい売上に結び付くか読めない状況である。 |
| □ | その他専門店 [酒]（経営者） | ・これまでもそうだったように、今までになかった最悪な状態で長い期間がたつとそれに慣れてしまう。さらに、その状態よりも悪くなると最悪だと思うのに、また慣れてしまう。そんな悪循環のなかで麻ひしている状態が少し怖い。 |
| □ | スナック（経営者） | ・新型コロナウイルス次第であるが、このまま感染が収まっていく状態が続けば、動きが出てくるのではないかとみている。 |

| | | | |
|----------------------------|---------|--|---|
| | □ | 都市型ホテル（スタッフ） | ・修学旅行や旅行会社の企画の予約は入っているが、新型コロナウイルスによる感染拡大の状況次第のため、キャンセルにならず催行されるかどうかによると考える。 |
| | □ | 旅行代理店（従業員） | ・新型コロナウイルスの第6波も想定すると、楽観的な予測は立てられない。 |
| | □ | 通信会社（営業担当） | ・新機種が発売されて問合せは多いが、前年の販売量と比べると大きな変化がみられない。 |
| | □ | 通信会社（役員） | ・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあり、消費マインドが好転しつつあるので、放送、通信サービス共に前年同期と同様の契約者数を見込んでいる。 |
| | □ | 住宅販売会社（従業員） | ・新型コロナウイルスやウッドショックが落ち着かない限り、景気回復は見込めない。 |
| | ▲ | 家電量販店（店長） | ・競合の新規出店による影響はあるが、主要商品の単価が前年に比して下がっている。 |
| | ▲ | 乗用車販売店（経営者） | ・メーカーから減産の連絡があり、ここ2～3か月は新車の入荷が不安定になるので業界全体がやや悪くなるとみている。 |
| | ▲ | 自動車備品販売店（役員） | ・政権の変化により新型コロナウイルス対策、経済対策が講じられると考えるが、変化を感じるには相当の時間が掛かるとみている。明るい兆しもなく、逆にますます悪化すると考える。 |
| | ▲ | 住関連専門店（役員） | ・ワクチン接種の進展と感染状況によるが、旅行や食事など、消費は外向きに変わると考える。 |
| | ▲ | 住宅販売会社（従業員） | ・住宅ローン控除の特例による有利性を営業トークに使っていたので、その反動は少なからず起こってくるとみている。 |
| | × | 乗用車販売店（従業員） | ・半導体不足の影響があり、景気が良くなるとはみられない。 |
| 企業 動向 関連 (北陸) | ◎ | 建設業（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、第6波は回避できるとみており、心理的に全てがプラス方向に向かうと考える。 |
| | ○ | 繊維工業（総括） | ・全体としては回復基調である。ただし、自動車用途が半導体不足の影響により先行き不透明となっていることや、東南アジアでの新型コロナウイルス変異株の感染拡大によるサプライチェーン分断の影響を懸念している。 |
| | ○ | 一般機械器具製造業（総務担当） | ・事業再構築補助金等の補助金により、引き続き設備投資のための機械購入が増えている。 |
| | ○ | 精密機械器具製造業（役員） | ・ワクチン接種率の向上に伴う緊急事態宣言の解除や新政権の施策に対し、期待感を含めて現状よりは良くなる方向に市場が動くと考ええる。 |
| | ○ | 輸送業（管理会計担当） | ・緊急事態宣言が解除され、制限緩和による人流増加に伴い、企業間物流の活発化が見込める。 |
| | ○ | 金融業（融資担当） | ・ワクチン接種が進み、緊急事態宣言の解除もあり、街中に人が増えて経済活動も活発化してきている。政策効果とあいまって、景気が改善することに期待している。 |
| | ○ | 金融業（融資担当） | ・新型コロナウイルスの新規感染者数の急拡大により観光、飲食及び関連産業の需要は低下したが、10月以降は全国で緊急事態宣言等が全面解除されることやワクチン接種の進展により徐々に回復に向かうとみている。新政権の経済対策にも期待する。 |
| | ○ | 司法書士 | ・個人住宅の新築や土地建物の購入は堅調である。 |
| | □ | プラスチック製品製造業（企画担当） | ・新型コロナウイルスの感染や半導体不足が短期的に解消することは難しいとみられ、今しばらく本格的な回復には至らないと考える。 |
| | □ | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・オートバイ関係の受注は引き続き好調に推移しており、材料調達の確保と人員体制の再整備が求められる状況である。一方で自動車関係は、新型コロナウイルスによる影響に加え、半導体不足の影響が予想以上に根深く、来年まで影響が続くとみている。 |
| | □ | 建設業（役員） | ・原材料費が上昇傾向にあるなか、この先利益確保が厳しくなることが予想され、今後の受注動向にも大きく影響を受けるとみている。 |
| □ | 通信業（営業） | ・企業、事業所、個人事業主向けに対する補助金を手厚くすることで、緊急事態宣言の有無に左右されず投資等を活性化する対策を採らない限りは、景気回復は見込めない。 | |

| | | | |
|----------|---|----------------|--|
| | □ | 不動産業（経営者） | ・現在、法人客は少し不景気ようである。個人客は新型コロナウイルスにより将来のことがはっきりしないと、しばらく買い控えをしているという話が幾つも出てきている。 |
| | □ | 広告代理店（経営者） | ・第6波への懸念があり、少し様子を見る必要がある。 |
| | □ | 税理士（所長） | ・製造業は厳しいが、ワクチンの浸透で観光業はこれから2～3か月先は復調の兆しが見られる。消費者のリベンジ消費もあることや、マイナスになる業種とプラスになる業種が今度は逆転してくることから、全体としては変わらない見通しである。 |
| | ▲ | 食料品製造業（経営企画） | ・受注量や販売量は当面維持できそうだが、原材料や燃料などのコストアップにより採算性の悪化がみえ始めている。 |
| | ▲ | 金属製品製造業（経営者） | ・2～3か月先の分の注文の入り具合をみていると、やや悪くなると考える。 |
| | × | — | — |
| 雇用 関連 | ◎ | — | — |
| (北陸) | ○ | 人材派遣会社（社員） | ・コロナ禍に落ち着きが見られ、期変わりのタイミングでもあり、多少なりとも良くなると考える。 |
| | ○ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・ワクチン接種が進み、感染者数も減少傾向にあることから、少しずつではあるが経済活動が活発になると考える。 |
| | ○ | 職業安定所（職員） | ・まん延防止等重点措置の解除後は、新規に求人を出したいという事業所が増加傾向にある。 |
| | ○ | 職業安定所（職員） | ・飲食業が一時的であれ、今後復活する時期であるが、2～3か月先の年末年始にどれだけ感染拡大を抑えられるかで、来年も大体決まるとみている。前年の傾向から今は新型コロナウイルスの端境期なので何とか回復期になると考える。 |
| | ○ | 職業安定所（職員） | ・ワクチン接種が進んだことによる期待感がある。 |
| | □ | 人材派遣会社（役員） | ・派遣登録者数が伸びない。 |
| | □ | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・大きな雇用の話が出てこない。 |
| | □ | 新聞社〔求人広告〕（営業） | ・新型コロナウイルスへの恐怖感がなくなればとか、特効薬ができればといった希望的な話が多い。 |
| | □ | 民間職業紹介機関（経営者） | ・新型コロナウイルス新規感染者数がやや減少の兆しがあるので、経済活動もようやく上向きになることを期待するが、時間が掛かるかもしれない。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職担当） | ・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない。 |
| | ▲ | — | — |
| | × | — | — |